

3つの柱		施策分野	新たに注目する課題・現状	主な新たな取組など
安心	1	保健医療	・実際の医療状況と市民の健康への認識との相違 ・将来的な医師の担い手不足	・若い世代からの生活改善・生活習慣病の減少 ・歯科口腔保健対策
	2	地域福祉	・地域福祉に関わる相談の多様化・複雑化	・市政運営における当事者の意見を十分に聴く場の設置
	3	高齢者福祉	・高齢者人口の構成比拡大 ・要介護・要支援認定率の上昇 ・介護サービスの人材不足	-
	4	障がい者福祉	-	・障がい者福祉サービスの地域移行支援や地域定着支援、地域生活支援事業を活用した取組
	5	子育て支援	・子育て世帯の流出	・「じゃん・けん・ぼん」の新庁舎への移設及び土日祝日の利用・一時預かりの実施 ・保育料の無償化・放課後児童クラブの利用料助成の継続実施 ・ひとりで困りごとを抱えないような相談体制の充実・周知
	6	道路ネットワーク	-	・保戸島架橋建設に関する効果や課題の検討
	7	公共交通	・持続的な公共交通体系の確立 ・公共交通の担い手不足や利用者の減少に伴う収益性の悪化	・路線バスや乗合タクシーの市内均一化料金などによる公共交通の利用機会の拡大 ・航路船舶のリプレイス・運航体制の効率化 ・大分県や関係者との連携によるドライバーや船員の確保
	8	上下水道	-	・上下水道施設の一体的な管理による効率化 ・デジタル技術による効率化
	9	防災・減災	・土砂災害への対策の必要性	・急傾斜・砂防など減災について追記 ・防災士との連携強化
	10	暮らしの安全	・高齢化に起因する交通事故 ・消費者問題対策	・高齢者の免許返納対策 ・消費生活に対する相談への対応や問題解決
	11	消防・救急	・高齢化による救急出動件数の多さ	・おおいた消防指令センターとの連携
	12	地域経営	-	・エビデンスに基づく政策立案（EBPM） ・DXやAI技術の活用による業務効率化 ・大分都市広域圏などの広域連携
豊かさ	13	農林業	-	・基盤整備や機械化による省力化 ・整備予定の街なか観光拠点施設での販路拡大 ・森林環境譲与税の活用による木材利用促進
	14	水産業	・海水温の上昇による今後の漁獲量への影響	・旬な魚のブランド化
	15	鉱工業	・新たな鉱山開発	-
	16	商業	-	・新たな産業の可能性の検討 ・ハブとなる組織・キーパーソンとなる人材の発掘 ・津久見ならではのものを活かした市外での積極的な販路拡大
	17	観光レクリエーション	・担い手不足によるイベント存続の危機	・ツーリズムおおいたや県内各自治体、民間事業者とも連携した誘客
	18	就労環境	-	・地場産業への関心向上や市内定住・就職促進 ・マルチワーカーの仕組みづくりの検討 ・移住・定住促進のためのワンストップ窓口の設置
	19	港湾	・さらなるにぎわいの創出 ・カーボンニュートラルの取組	・カーボンニュートラルに向けた機運の醸成や企業誘致に向けた大分県との協議、関係団体との連携促進 ・津久見港港湾脱炭素推進協議会での津久見港港湾脱炭素推進計画の策定
	20	公共空間・住環境	・つくみん公園を核とした新たな活用方法の検討 ・持続可能な中心市街地の再編 ・空き家バンク制度の活用不足、危険空き家の増加	・市庁舎の建て替えにあわせた「みなとオアシス津久見」と連携した街なか観光拠点や生活利便施設の整備・集積、まちなか居住の促進、市中心部の再編 ・現市役所庁舎跡地や公共施設・公有地の活用 ・民間活力にによる地域資源の活用
	21	生活環境	-	ペットマナーの啓発
	22	循環型社会・地球温暖化防止	-	・地球温暖化について標題に追記 ・地方公共団体実行計画「区域施策編」の策定 ・再生可能エネルギー事業関連の企業誘致
	23	景観	・景観保全活動の継続困難	・津久見らしい景観のアーカイブ化などによる継承 ・景観計画による景観の意識の醸成
人財	24	学校教育	-	・体育専科教員や栄養教諭の活用による運動への愛着や食育の関心向上 ・津久見高校の魅力向上
	25	社会教育	-	・公民館機能の旧第二中学校移設による利便性向上・機能強化 ・市民図書館におけるWi-Fiを活用した学習の場としての定着
	26	青少年健全育成	-	・指導員の資質向上、地域住民の参画を得た活動の実施
	27	地域文化・伝統芸能	-	・文化財保存活用地域計画に基づく文化財の保存・活用（「知る・守る・活かす」の流れを推進） ・伝統芸能や行事の後継者の育成
	28	スポーツ・レクリエーション	-	・健康寿命の延伸や介護予防につながる取組 ・競技施設の整備や改修
	29	地域コミュニティ	-	・地域コミュニティの活動拠点となる集会所等の計画的改修
	30	男女共同・人権尊重	・アンコンシャスバイアスへの意識	-